

秋田県

デジタルを活用した移住定住対策事業 要件定義書



0. 本書の位置づけと使い方

0-1. 本書の目的

本書は、秋田県から委託を受けた「デジタルを活用した移住定住対策事業」において、ウェブサイト大規模改修および新規システム開発の全要件を「削る前の理想形」として定義した仕様書である。

本書を起点として、ベンダーへの見積依頼（RFP）・開発発注・県庁との合意形成・予算交渉に活用する。見積結果を踏まえて機能の取捨選択を行う際も、本書が削減判断の基準となる。

0-2. 本書の使い方

用途	使い方
ベンダーへの RFP	本書をそのまま提示し、全機能の見積を依頼する。見積後に優先度に基づき削減交渉を行う。
県庁との合意形成	要件の全体像と優先度を共有し、予算・スケジュールとのすり合わせに使う。
現行環境引き継ぎ判断	第 11 章のチェックリストを用いて現行システムの技術調査を実施し、引き継ぎ可否を判断する。

0-3. 表記ルール

表記	意味
【要確認】	今後の設計・協議で確定が必要な項目
【方針】	ヒアリング結果を踏まえた受託者側の対応方針（県庁との合意確認が必要）
【注意】	リスク・制約・特に注意が必要な事項
【環境調査】	現行環境の引き継ぎ判断のために調査が必要な項目

0-4. 機能要件の取扱い及び提案に関する方針

本書（特に第 4 章、第 5 章、第 6 章、第 10 章）に記載されている要件は、本プロジェクトが目指す「将来的な理想の全体像」を網羅したものとなる。

これらはあくまで「将来的な理想の全体増」に含まれることを想定している項目であり、提案者は、専門的な知見に基づき、技術的な実現可能性や投資対効果の観点から実装の優先順位を判断したうえで、最適な実装範囲を提案するものとする。

1. プロジェクト概要

1-1. 背景と目的

秋田県では現在、移住・就職関連の複数ウェブサイトを活用しているが、導入から5～10年が経過し以下の課題が顕在化している。

- WEB上での個人登録がデータベースへ自動反映されず、職員が手動でデータ入力している
- 移住者と学生の登録情報が別々のDBで管理されており、ライフステージを通じた継続的な把握・管理ができない
- ユーザーが過去の活動履歴を確認できる場所がなく、サイト利用が情報収集のみにとどまる（受動的利用）
- UIが古く、カテゴリ・導線が分かりにくい。外部サイト遷移も多くサイト内回遊の妨げになっている
- 複数の独自PHPシステムが点在しており、保守・改修コストが高い

これらを解消し、ユーザーと行政双方にとって価値のある移住・定住支援デジタル基盤を一から設計・構築することが本プロジェクトの目的である。

1-2. スcope

分類	システム名	対象
改修	秋田県移住・定住総合ポータルサイト「はじめの一步」 (https://www.a-iju.jp/)	○ 改修対象
改修	秋田県学生就活情報サイト「KocchAke!」 (https://kocchake.com/)	○ 改修対象
新規開発	ユーザー向けマイページ（統合DB含む）	○ 新規開発
新規開発	・県庁統合管理画面（コンテンツ管理・ユーザー管理・分析・企業情報管理等） ・企業アカウント機能 ※同一システム・権限分離	○ 新規開発
対象外	あきた就職ナビ	X 対象外
参照のみ	移住サポートシステム（既存）	X 改修対象外（データ連携方針は要協議）

1-3. ターゲットユーザー

ユーザー区分	対象	ライフステージ想定
移住希望者	秋田への移住を検討している県外在住者 (20～40代・子育て世帯を主軸)	移住関心→情報収集→相談→移住準備→移住後
学生	秋田県内外の大学・専門学校等に在籍する 学生（県内就職・定住を検討）	就活開始→企業研究→イベント参加→就職 →移住希望者へ属性変更

【方針】 学生が卒業・就職後に移住希望者属性へ移行するライフステージ通じた継続管理が本プロジェクトの重要な設計ポイント

1-4. ウェルカムパスポートとは

ウェルカムパスポートとは、A→KITA 登録を移住前に行い、移住が完了したユーザーに対し、県内のスポーツ施設や美術館などで特典が受けられるクーポンを進呈するものである。現在は紙で発行しているクーポンをデジタルで発行することにより、A→KITA 登録のインセンティブとし、登録後のアクティブ率向上を目的とする。

項目	内容
位置づけ	A→KITA 登録を事前に行い、移住が完了したユーザーへ発行するデジタルパス。
対象	A→KITA 登録を事前に行い、移住が完了したユーザー。
利用方法	マイページ上に QR コードを表示し、協賛施設等の職員で自身の QR コードを提示したうえで、移設に設置してある QR コードを読み取ることで利用。利用ログも取得できる。
主な目的	①A→KITA 登録のインセンティブ（登録すると移住後に特典がもらえる）、 ②登録後のマイページ継続利用促進（ウェルカムパスポートを使うためにマイページを開く）
管理	有効期限・利用可能施設情報・特典内容は県庁統合管理画面から設定・編集できる。利用可能施設の具体的な内容は県庁と協議の上確定する。

2. システム全体構成

2-1. 全体設計方針

フロントサイト（はじめの一步・KocchAke!）を潜在層への入口として機能させ、関心を持ったユーザーをマイページ登録へ誘導する。マイページ登録後は顕在層として、属性に応じたパーソナライズ情報・申込管理・活動記録を提供する。すべてのユーザー行動データを統合 DB で一元管理し、県庁管理画面でリアルタイムに分析・活用できる体制を構築する。

2-2. 各システムの役割

システム	対象ユーザー	役割・目的
はじめの一步 (改修)	移住希望者	移住情報の発信拠点。リニューアルにより UI/UX・情報設計を全面刷新し、マイページ登録へ誘導する。
KocchAke! (改修)	県内学生及び秋田出身の県外学生	学生向け就活・定住情報の発信拠点。企業情報・採用情報・就活イベント等を掲載し、学生が秋田で働くことを前向きに考えられるコンテンツを提供する。マイページ登録へ誘導する。
マイページ (新規)	登録ユーザー	属性別パーソナライズ情報提供・各種申込・活動記録管理。ユーザー行動データを確実に収集・蓄積する中核システム。
統合 DB (新規)	全ユーザー	移住者・学生データを同一 DB 上で一元管理。WEB 登録と同時に自動反映。学生→移住希望者のライフステージ引き継ぎに対応。
県庁統合管理画面 (新規)	県庁職員・関係機関職員・登録企業の担当者	権限によって表示メニューを分離する。 ● 県庁職員 ○ 3 サイトのコンテンツ管理・ユーザーデータ管理・申込管理・分析ダッシュボード・企業アカウントの作成管理を一画面で提供。 ● 関係機関職員 ○ 同一システムに関係機関職員アカウントでログインし、イベント情報の登録や、記事の編集、権限の範囲内でユーザーデータの閲覧等が可能。 ● 企業担当者 ○ 同一システムに企業アカウントでログインし、自社情報の編集・就活イベント・インターン情報の登録。

2-3. 技術スタック選定指針

本要件を満たすシステムが構築できるのであれば、技術スタックの選定は基本的にベンダーの判断に委ねる。以下は参考として示す推奨方針であり、必須要件ではない。最終的な選定はベンダーとの技術協議を経て確定する。

レイヤー	参考方針	補足
フロントサイト	モダンフレームワーク（Next.js 等）による新規構築を推奨	スマートフォンファースト・表示速度・SEO の観点から。ただし同等の要件を満たせるのであれば技術選定はベンダーに委ねる。
マイページ・統合 DB・管理画面	フルスクラッチによる独自開発を推奨	ユーザー認証・申込管理・行動ログ・メール配信・相談員機能・企業アカウント管理等、要件が固有であるため。管理画面は 3 サイト＋企業アカウントを 1 つの UI に統合する設計とする。
インフラ	クラウド（AWS / GCP / Azure 等）を推奨	スケーラビリティ・セキュリティ・保守性の観点から。具体的なサービス選定はベンダーに委ねる。

【注意】 管理画面は 1 つに統合することを必須要件とする。CMS を別途導入する場合も、県庁職員の操作画面は統合管理画面に一本化すること。

3. データベース・データ管理設計

3-1. 統合 DB の基本方針

方針	内容
一元管理	移住希望者・学生を同一 DB で管理。ユーザーは属性（移住希望者 / 学生）で区分する。
WEB 自動反映	マイページの会員登録・プロフィール更新と同時に DB へ自動反映。職員による手入力をゼロにする。
属性の引き継ぎ	学生として登録したユーザーが卒業・就職後に移住希望者属性を追加できる。アカウントの再作成不要。
情報鮮度維持	定期通知（年 1 回等）でユーザーに情報更新を促し、常に最新状態を維持する。
相談員メモ連携	職員・相談員がユーザーごとに相談内容・回数等のメモを管理画面から登録できる。

3-2. アカウント種別・ユーザー属性設計

▶ 3-2-1. マイページユーザー（一般ユーザー）

属性値	対象	主な利用機能
移住希望者	秋田への移住を検討している者（県外在住者、または学生から属性変更したユーザー）	移住情報、移住イベント申込、相談申込、準備チェックリスト、奨学金・空き家情報等
学生	秋田県内外の大学・専門学校等に在籍している学生（県内就職・定住を検討）	就活イベント申込、就活支援制度、奨学金返済支援情報等

【方針】 学生が卒業・就職後に属性を移住希望者へ変更できる設計とする。同一アカウントを使用し、再登録は不要。

▶ 3-2-2. 管理画面ユーザー

アカウント種別	対象	主な利用機能
システム管理者	システム担当者	全機能フルアクセス。管理者アカウントの追加・削除・権限変更。
コンテンツ管理者	広報・更新担当職員	記事・イベント・ページのコンテンツ編集・公開。
相談員	相談対応職員	担当ユーザーの詳細閲覧・相談メモ・対応ステータス変更。
データ閲覧者	管理職・分析担当	ダッシュボード・ユーザー一覧の閲覧のみ。

アカウント種別	対象	主な利用機能
企業アカウント	登録企業の担当者	自社の企業情報・イベント・申込者のみ編集・閲覧可。

【方針】 管理画面は同一システム・同一ドメインで運用し、ログイン後にアカウント種別に応じて表示されるメニューが切り替わる設計とする。

3-3. 主要データ項目

▶ 3-3-1. 共通登録情報（ユーザー入力）

データ項目	必須/任意	備考
メールアドレス	必須	ログイン ID 兼用。本人確認メール送信。
パスワード	必須	ハッシュ化（bcrypt 等）して保存。
氏名（姓・名）	必須	
氏名ふりがな	任意	
生年月日 / 年齢	必須	属性・パーソナライズに利用。
現住所（都道府県）	必須	
電話番号	任意	
属性	必須	移住希望者 / 学生。複数選択可。
希望移住時期	任意	移住希望者のみ。
希望移住地域（秋田県内）	任意	移住希望者のみ。市町村単位。
家族構成	任意	移住希望者のみ。
学校名・学部・卒業予定年	必須	学生のみ。
登録日時	自動	DB 自動記録。
最終更新日時	自動	DB 自動記録。

【要確認】 必須・任意項目の最終決定は登録ハードルとデータ質のバランスを考慮して UX 設計フェーズで確定する

▶ 3-3-2. 相談員が管理画面から記録する情報

データ項目	記録者	ユーザー表示	備考
相談日時	相談員	非表示	
相談内容（テキストメモ）	相談員	非表示	自由記述
相談回数（累計）	システム自動集計	非表示	

データ項目	記録者	ユーザー表示	備考
相談担当者名	相談員	非表示	
対応ステータス	相談員	非表示	「初回相談済み」「フォロー中」 「移住完了」等
タグ	相談員	非表示	任意。検索・絞込に活用。

【要確認】 対応ステータスの種類・タグの設計は県庁業務フローに合わせて確定する

3-4. データ移行方針（確定）

【方針】 プライバシーポリシーの観点から既存ユーザーデータの自動移行は行わない。新規登録を促す運用とする。

対象	方針	対応内容
既存移住サポートシステム (約 7,600 件)	自動移行なし	既存メールアドレス宛に一斉通知。新マイページへの再登録を促す。
既存 KocchAke!会員 (約 7,000 名)	自動移行なし	同上。
既存 KocchAke!企業情報 (約 1,000 社)	選択的に移行	企業情報は新システムに引き継ぐ。不要な情報（オンライン相談・人事ブログ等）を整理した上で移行する。移行対象・方法はベンダーと協議の上確定する。

【要確認】 一斉通知メールに使用する既存ユーザーのメールアドレスデータの取得可否・件数を県庁に確認する

4. マイページ要件（フルフル版）

4-1. 概要・基本方針

マイページは、移住希望者・県内学生が共通して利用するユーザーポータル。登録属性に応じてコンテンツを出し分けるパーソナライズ機能を持ち、ユーザーが「自分専用のサイト」として継続的に利用できる体験を提供する。イベント申込・各種相談申込はマイページ登録を必須とし、ユーザーの行動データを確実に収集・蓄積する。

4-2. 会員登録・認証

機能	内容
メールアドレス+パスワード登録	メールアドレスとパスワードによる会員登録。登録後に本人確認メールを送信し、メール内リンクのクリックで有効化する。
ソーシャルログイン (Google)	Google アカウントを使ったワンクリック登録・ログイン。特に若年層・学生ユーザーの登録ハードルを下げる。
ソーシャルログイン (LINE)	LINE アカウントを使ったワンクリック登録・ログイン。LINE 公式アカウントとの連携も将来的に容易になる。
パスワードリセット	登録メールアドレス宛にパスワードリセットリンクを送信する機能。
退会機能	ユーザー自身によるアカウント削除。個人情報の削除と匿名化された統計データの保持を選択可能とする。

4-3. 登録フロー

ステップ	内容
Step 1	フロントサイトにてイベント/相談申込ボタン または 「マイページ登録」 CTA をクリック
Step 2	未ログインの場合、ログイン or 新規登録画面へリダイレクト
Step 3	メールアドレス・パスワードを入力（またはソーシャルログイン選択）
Step 4	認証メール送信 → メール内リンクをクリックしてメール認証完了
Step 5	属性選択（移住希望者 / 学生）と基本プロフィール入力（必須項目のみ・最小限）
Step 6	登録完了 → ダッシュボードへ遷移（もしくは元の申込画面へ自動リダイレクト）
Step 7（任意）	追加プロフィール入力を促す（希望地域・家族構成等）。任意として後から随時入力可能。

【要確認】 登録ステップのハードル（入力項目数）と取得データ質のトレードオフは UX 設計フェーズで最終検討する

4-4. ダッシュボード（マイページトップ）

表示要素	内容
申込中イベント一覧	近日開催のイベントを申込順に表示。参加 QR コードへのリンクを含む。
おすすめイベント	属性・行動履歴に基づくパーソナライズされたイベントレコメンド。
準備チェックリスト進捗 （移住希望者）	移住準備の進捗をプログレスバーで表示。次のステップへの CTA。
最新お知らせ	県庁からの新着情報・セグメント配信メッセージ。
活動タイムライン （直近 3 件）	最近のイベント参加・相談利用履歴のサマリー。
ウェルカムパス（ウェルカムパス）	マイページ QR コードを常時表示。イベント受付や各種提示に使用。

4-5. プロフィール管理

機能	内容
基本情報の確認・編集	氏名・生年月日・住所・電話番号等の確認と編集。
属性の変更・追加	学生→移住希望者への属性追加。アカウントはそのまま引き継ぎ。
希望条件の編集	移住希望時期・希望地域・家族構成等の追加・更新。
プロフィール公開設定	相談員に見せる情報の範囲設定（任意）。
アカウント連携	ソーシャルログインアカウントの連携・解除。

4-6. イベント申込・管理

機能	内容
イベント一覧・検索	マイページ内から申込可能なイベントを属性・カテゴリ・日程でフィルタリング・検索。
イベント申込	申込フォームへの入力・送信。定員に達した場合はキャンセル待ち登録。
申込確認・キャンセル	申込中イベントの一覧表示・詳細確認・キャンセル手続き。
参加 QR コード表示	申込完了後、イベント当日に職員に提示する QR コードをマイページ内で表示。
イベントカレンダー	申込中・お気に入りのイベントをカレンダー形式で表示。
お気に入りイベント	気になるイベントをお気に入り登録。開催通知メールを受け取れる。

4-7. イベント参加トラッキング（QR コード方式）

ステップ	操作者	内容
① QR コード生成	システム（自動）	イベントごとにユニークな QR コードを管理画面で自動生成・印刷用 PDF 出力可能。
② QR コード提示	職員	イベント当日、受付にて QR コードを掲示または職員端末で表示。
③ QR コード読取	職員	来場したユーザーのマイページ QR コードを職員がスキャン。
④ 参加確定ボタン	職員	管理画面上で対象ユーザーの参加を確定。ボタン押下で DB に参加記録を反映。
⑤ データ反映	システム（自動）	ユーザーの活動履歴（タイムライン）に参加記録が追加される。アンケートメールが自動送付される。

【要確認】 QR コードの読取方式（職員がユーザーの QR をスキャン / ユーザーが受付端末にかざす等）は UX 設計フェーズで確定する

【要確認】 オフライン環境での参加確定（通信不安定な会場等）の対応方針を検討する

4-8. 相談申込・管理

機能	内容
相談申込	移住相談・就活相談の申込フォーム。希望日時・相談方法（対面/オンライン/電話）等を入力。
申込確認・キャンセル	申込中の相談の確認・キャンセル手続き。
相談履歴確認	過去の相談日時・相談種別の履歴をタイムライン形式で確認（相談内容メモは非表示）。
担当相談員の確認	担当が決まった場合、担当者名を表示（任意）。

4-9. 活動履歴（タイムライン）

記録内容	表示タイミング
イベント申込	申込完了時
イベント参加	QR 参加確定時
相談申込・実施	申込完了時・相談実施後
アンケート回答	回答送信時
準備チェックリスト更新	チェック操作時
お気に入り登録	登録時
プロフィール更新	更新時

4-10. 参加後アンケート

項目	内容
送付タイミング	QR 参加確定後、設定時間内（例：翌日 AM）に自動メール送信。
アンケート内容（案）	満足度評価（5 段階）、参加動機、次のアクション意向（移住検討度・就職検討度等）、自由記述
回答データの連携	回答内容をユーザーID と紐付けて DB に保存。管理画面のユーザー詳細・イベント分析で確認可能。
アンケート UI	マイページ内のフォーム画面として実装。メールにはフォームへの URL を記載。
回答インセンティブ	回答完了でポイント付与等を検討（Could）。

【要確認】 アンケートの設問設計は県庁と協議の上で確定する

4-11. パーソナライズ機能

▶ 4-11-1. 属性・条件別パーソナライズコンテンツ

ユーザー属性・条件	パーソナライズコンテンツ例
移住希望者（全般）	移住イベント・相談窓口情報、移住支援金・補助金情報、移住体験談
移住希望者（子育て世帯）	子育て支援制度・保育所情報、移住家族向けイベント、教育環境コンテンツ
移住希望者（空き家・住まい希望）	空き家バンク情報・リノベーション事例、空き家改修補助金
移住希望者（就農・地域おこし希望）	農業・林業体験イベント、就農支援制度、地域おこし協力隊情報
学生（就職活動中）	県内就活イベント・合同説明会情報、就活支援制度（交通費補助等）
学生（奨学金関心）	秋田県奨学金返済支援制度、県内就職と奨学金支援のセット情報
全ユーザー（行動ベース）	閲覧・お気に入り登録したコンテンツ関連のイベント・情報レコメンド
全ユーザー（準備進捗ベース）	準備チェックリストの次ステップに関連するコンテンツ提示

▶ 4-11-2. パーソナライズの実装レベル

実装レベル	内容
Lv.1（基本）	属性（移住希望者 / 学生）によるコンテンツ出し分けのみ。
Lv.2（条件マッチ）	登録プロフィール（希望地域・家族構成・希望条件等）に基づく絞込表示。
Lv.3（行動ベース）	閲覧履歴・お気に入り・チェックリスト進捗に基づくレコメンド。

4-12. 自動メール・セグメント配信

▶ 4-12-1. 自動メールの種類

メール種類	トリガー	内容例
ウェルカムメール	新規登録完了時	登録完了のお礼・マイページ使い方案内・ウェルカムパス案内
イベント申込確認	イベント申込完了時	申込内容・開催日時・場所・キャンセル方法
イベントリマインド	イベント開催〇日前	開催日時・場所・持ち物・参加 QR コード表示案内
参加後アンケート送付	参加確定後〇時間以内	アンケート URL・所要時間の案内
相談申込確認	相談申込完了時	申込内容・担当者・連絡先
プロフィール更新促進	最終更新から〇ヶ月経過	情報更新のお願い・マイページリンク
お気に入りイベント開催通知	関連イベントが公開された時	新着イベントの案内
属性変更案内	学生の卒業予定時期〇ヶ月前	「移住希望者に属性変更できます」の案内
再エンゲージメントメール	直近〇ヶ月ログインなし	「最近どうですか？」活動促進メール

▶ 4-12-2. セグメント配信

管理画面から、ユーザー属性・地域・行動履歴等の条件でターゲットを絞り込み、メールを一斉配信する。

セグメント条件（例）	配信コンテンツ例
移住希望者 × 現住所：首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）	首都圏向け移住フェア・相談会の案内
学生 × 卒業予定年：〇年度	就活解禁直前の就活イベント案内
直近 3 ヶ月イベント未参加ユーザー	再エンゲージメントメール
準備チェックリスト完了率 50%以上	移住相談会への申込促進
お気に入り：空き家情報あり	空き家バンク新着・補助金案内
相談済み × 移住未完了	フォローアップ相談の案内

4-13. 移住希望者専用機能

機能	内容
準備チェックリスト	移住準備の進捗をステップ別に可視化。各ステップに関連コンテンツ・申込 CTA を配置。「住まいを探す」「仕事を探す」「子育て環境を調べる」「支援制度を確認する」「相談する」等のステップを設定。
パーソナライズ情報表示	奨学金・空き家情報・補助金・支援制度等、属性・希望条件に応じた情報を優先表示。
生活コストシミュレーター	秋田での生活費概算を算出。家賃・食費・光熱費・交通費等を入力してシミュレーション。
ピン留め地域	興味のある秋田県内の地域をピン留め・比較できる機能。地域ごとの情報・イベントへのリンクを表示。
移住予定日カウントダウン	希望移住予定日を設定し、カウントダウン表示。移住へのモチベーション維持を支援。
ウェルカムパス	登録ユーザーに発行するデジタルパス。マイページ上に表示・提示可能。

4-14. 学生専用機能

機能	内容
企業・採用情報の閲覧	掲載企業の説明会情報・インターン情報をマイページ内から閲覧可能。
イベント申込	企業説明会・インターンシップ等への申込・参加履歴管理。
気になる企業のお気に入り登録	関心のある企業をお気に入り登録し、新着イベントや採用情報の通知を受け取れる。
パーソナライズ情報表示	奨学金返済支援・就活支援制度等、学生属性に応じた情報を優先表示。

4-15. その他機能

機能	内容
お気に入り	イベント・記事・地域等のお気に入り登録・管理。
メッセージ / お知らせ	県庁からの個別連絡・一斉配信の受信トレイ。
メール通知設定	受け取るメール通知の種類・頻度のカスタム設定。

5. フロントサイト改修要件

5-1. 共通改修方針

方針	内容
UI/UX 全面刷新	子育て世帯・若年層に刺さる現代的ビジュアルデザイン。スマートフォンファースト設計。
情報設計の再整理	カテゴリを整理・統一し、3 クリック以内で目的情報にたどり着ける設計に変更。
外部遷移の削減	現状多い外部サイトへの遷移をできる限りサイト内で完結させ、離脱率を低下。
マイページ誘導強化	サイト内各所（イベント詳細・相談案内・記事下等）にマイページ登録 CTA を設置。
デザイン統一	継ぎはぎデザインを全面刷新。デザインシステム・コンポーネント設計で一貫性を担保。
CMS 操作性	IT 専門知識がない県職員でもコンテンツ更新できる直感的な管理 UI 設計。
表示速度	Core Web Vitals 基準（LCP 2.5 秒以内等）を達成。画像最適化・CDN 活用。
SEO 対応	メタタグ・構造化データ・サイトマップ・OGP 設定の最適化。

5-2. はじめの一步 改修要件

▶ 5-2-1. 改修の方向性

- 「秋田に移住した自分」をイメージできるビジュアルコンテンツ設計
- 仕事・住まい・子育て・暮らし等のライフステージ・関心別の明確な導線
- 移住ステップ（関心→情報収集→相談→準備→移住）に沿ったコンテンツ配置
- イベント・相談窓口への誘導を強化し、マイページ申込への CTA を各所に設置

▶ 5-2-2. 機能要件

機能	内容
トップページ刷新	ビジュアル重視・ライフスタイル訴求のファーストビュー。移住者の声・秋田の日常を前面に打ち出す。
コンテンツカテゴリ再設計	仕事・住まい・子育て・補助金・移住者の声等をわかりやすく再分類。階層を浅くする。
イベント一覧・詳細	移住イベントの一覧・詳細表示。マイページ申込ボタン設置。
相談窓口案内	移住相談の案内ページ。マイページからの申込へ誘導。
サイト内検索	キーワード検索・カテゴリフィルターによる情報検索。

機能	内容
移住者の声コンテンツ	実際の移住者インタビュー・体験談。年代・家族構成・移住地域等で絞込可能。
地域別情報ページ	秋田県内の市町村別情報（仕事・住まい・子育て等）。マイページのピン留め機能と連動。
補助金・支援制度まとめ	移住者が使える補助金・支援制度の一覧。条件別フィルタリング機能。
SNS シェア機能	各記事・イベントの SNS シェアボタン（X・Facebook・LINE）。
SNS フィード埋め込み	公式 Instagram や X のフィードをサイト内に埋め込み表示。
動画コンテンツ	秋田の暮らし紹介・移住者インタビュー動画の埋め込み（YouTube）。

【要確認】 詳細なサイトマップ・コンテンツ構成は現状分析・ユーザー調査後の情報設計フェーズで確定する

5-3. KocchAke! 改修要件

▶ 5-3-1. リブランディング方針

KocchAke!は「秋田で働く・暮らす若者を応援する情報発信サイト」として、企業情報・採用情報・就活イベント等を中心に掲載する。企業情報のうちオンライン相談（7）・人事ブログ（8）は削除し、企業情報（1）・採用情報（4）・インターンシップ（6）に情報を集約することを基本とする。先輩のリアルな声・ライフスタイル・就活支援制度情報も充実させ、学生が「秋田ではたらく」ことに前向きになれるコンテンツを提供する。

【要確認】 掲載コンテンツの最終構成・企業情報の集約方針は県庁と協議の上確定する

▶ 5-3-2. 機能要件

機能	内容
トップページ刷新	学生向けビジュアル設計。秋田で働くことが前向きに考えられるように。
就活支援制度まとめ	奨学金返済支援・U/I ターン補助・交通費支援等の一覧。
企業情報・採用情報一覧	秋田県内企業の基本情報・採用情報・動画の一覧・詳細ページ。奨学金返還助成制度（9）はタグ付けで対応。
就活イベント・インターンシップ一覧	企業説明会・インターンシップ・合同就活イベントの一覧・詳細。マイページ登録者のみ申込可（申込が伴うため）。
サイト内検索	キーワード・カテゴリでの情報検索。
外部就活サービス誘導	はじめの一步・あきたジョブ等への案内リンク。
閲覧権限の設定	企業情報（1）・企業動画（2）・採用情報（4）・先輩の声（5）・奨学金返還助成（9）・女性活躍推進（10）は全ユーザー閲覧可。説明会情報（3）・インターンシップ（6）はマイページ登録者のみ閲覧・申込可。
SNS シェア機能	各コンテンツの SNS シェアボタン。

機能	内容
動画コンテンツ	先輩インタビュー・秋田ライフ紹介動画の埋め込み。

6. 管理画面要件

【方針】 管理画面は同一システム・同一 URL で運用する。ログイン後にアカウント種別（システム管理者・コンテンツ管理者・相談員・データ閲覧者・企業アカウント）に応じて表示メニューが切り替わる設計とする。

6-1. 管理画面の全体方針

▶ 6-1-1. 県庁側管理画面の概要

はじめの一步・KocchAke!・マイページを1つの管理画面で統合管理する。コンテンツ更新・ユーザーデータ管理・イベント管理・分析ダッシュボードを一画面で提供。IT 専門知識がない県職員でも直感的に操作できる UI 設計を最優先とする。

6-2. ダッシュボード

【方針】 ダッシュボードの設計思想は「見てアクションを起こせる」こと。単なる数値羅列ではなく、各指標の意味と次のアクションを対応させる。

▶ 6-2-1. ダッシュボード表示項目詳細

カテゴリ	表示指標・ウィジェット	データソース	表示形式	活用目的・アクション
A. ユーザー獲得・登録状況				
登録者数	新規登録者数（日次・月次・累計）	統合 DB	数値カード＋折れ線	登録ペース把握・施策効果検証
登録者数	属性別登録者数（移住希望者 / 学生 / 両方）	統合 DB	ドーナツグラフ	ターゲット別獲得状況把握
登録者数	属性変更数（学生→移住希望者）	統合 DB	数値カード	ライフステージ移行の把握
登録者数	月次登録者数推移（前月比）	統合 DB	棒グラフ	季節性・施策効果の把握
地域分布	登録者の現住所（都道府県別）分布	統合 DB	地図ヒートマップ＋ランキング	移住関心の高い地域への重点施策立案
地域分布	移住希望地域（秋田県内市町村別）分布	統合 DB	地図ヒートマップ	人気地域へのコンテンツ強化
年齢・属性	登録者の年代別分布	統合 DB	棒グラフ	ターゲット年代の獲得状況確認

カテゴリ	表示指標・ウィジェット	データソース	表示形式	活用目的・アクション
年齢・属性	登録ステップ完了率（途中離脱ポイント）	統合 DB+GA4	ファネルチャート	登録フローのボトルネック改善
B. イベント・相談申込状況				
イベント	イベント別申込数・参加数・参加率	統合 DB+QR ログ	表+棒グラフ	人気イベント把握・次回計画立案
イベント	イベント月次申込数推移	統合 DB	折れ線グラフ	施策・季節性の効果検証
イベント	ユーザー別イベント参加回数・頻度分布	統合 DB	ヒストグラム	リピーター醸成施策の検討
イベント	アンケート回答率・満足度スコア	アンケート DB	数値カード+棒グラフ	イベント品質改善・次回企画反映
相談	相談申込数（月次・累計）	統合 DB	数値カード+折れ線	相談需要把握・相談員リソース計画
相談	対応ステータス別件数	統合 DB	ドーナツグラフ	未対応案件の迅速把握・対応漏れ防止
相談	相談→イベント申込→移住完了の遷移数	統合 DB	サンキーダイアグラム	相談の効果測定・ファネル分析
C. ユーザー行動・エンゲージメント				
マイページ	月次アクティブユーザー率（MAU/登録者）	統合 DB	数値カード+折れ線	マイページ活用度把握・再訪促進施策検討
マイページ	機能別利用状況（チェックリスト・お気に入り等）	行動ログ DB	棒グラフ	人気機能把握・UI 改善優先付け
マイページ	プロフィール更新率（定期通知後の変化）	統合 DB	折れ線グラフ	データ鮮度の維持状況確認
マイページ	準備チェックリスト完了率・ステップ別進捗分布	行動ログ DB	ファネルチャート	移住準備の進捗把握・詰まりステップへのコンテンツ強化
コンテンツ	お気に入り登録数ランキング（記事・地域）	行動ログ DB	ランキングリスト	人気コンテンツ把握・発信強化の優先付け
メール	メール開封率・クリック率（セグメント別）	メール配信ログ	表	メール施策効果測定・セグメント設計改善
D. サイトアクセス（GA4 連携）				
アクセス	サイト別セッション数・PV 数（日次・月次）	GA4	折れ線グラフ	サイト流入の把握
アクセス	直帰率・平均滞在時間・回遊率	GA4	数値カード	改修効果の検証
アクセス	流入経路別セッション数	GA4	円グラフ	強化すべきチャネルの特定

カテゴリ	表示指標・ウィジェット	データソース	表示形式	活用目的・アクション
アクセス	ページ別離脱率ランキング	GA4	ランキングリスト	改善すべきページの特定
アクセス	フロントサイト→マイページ登録 CV 率	GA4 + 統合 DB	ファネルチャート	登録誘導の効果測定
E. KPI サマリー				
KPI	設定 KPI 一覧・現在値・目標値・達成率	統合 DB + GA4	ゲージ+進捗バー	プロジェクト全体進捗の一覧把握・報告資料作成
KPI	前月比・前年同月比の変化率	統合 DB + GA4	数値カード（増減矢印付）	改善・悪化のクイックモニタリング

▶ 6-2-2. ダッシュボード UI 設計方針

方針	内容
フィルタリング	期間（日次・週次・月次・年次）・属性・地域でデータを絞込可能。
更新タイミング	リアルタイム or 日次バッチ更新（指標ごとに設定）。
エクスポート	各グラフ・表データの CSV・PDF エクスポート。
アラート機能	KPI が設定値を下回った場合に管理者メールで通知（Should）。
GA4 連携	GA4 データは Looker Studio で整形し、iframe または API 経由で管理画面に埋め込む方式を検討（Could）。

6-3. コンテンツ管理（3 サイト統合）

機能	内容
お知らせ・記事管理	はじめの一步・KocchAke!のお知らせ記事の作成・編集・公開・非公開・削除。どのサイトに表示するかを指定可能。
固定ページ管理	移住の流れ・支援制度・補助金等の固定ページのコンテンツ編集。
イベント管理（詳細は 6-4）	移住・就活イベントの登録・編集・公開・定員管理・申込受付開閉。どのサイトに表示するかを指定。
移住者の声・インタビュー管理	はじめの一步掲載の移住者インタビュー記事の登録・管理。
先輩インタビュー管理（KocchAke!）	KocchAke!掲載の先輩インタビュー記事の登録・管理。
補助金・支援制度情報管理	各サイト掲載の補助金・支援制度情報の登録・編集・更新。

機能	内容
メディアライブラリ	画像・PDF 等のファイルの一元管理。
プレビュー機能	公開前に表示イメージを確認できるプレビュー。
コンテンツ公開スケジュール	指定日時に自動公開・自動非公開する予約機能。

6-4. イベント管理

機能	内容
イベント作成・編集	タイトル・日時・場所・定員・対象属性・申込期限・開催形式（対面/オンライン）・QR コード設定。
表示サイト指定	はじめの一步 / KocchAke! / 両方 の表示先を指定。
QR コード生成・管理	イベントごとの QR コードを自動生成。印刷用 PDF 出力。
当日参加受付	申込者一覧表示・QR スキャン受付・参加確定ボタン。オフライン対応も考慮。
定員管理・キャンセル待ち	定員に達した場合のキャンセル待ち登録・繰り上げ処理。
アンケート作成・設定	参加後アンケートのフォーム設計・自動送付タイミング設定。
アンケート回答集計	回答データの集計・ユーザーID との紐付け確認・CSV 出力。
イベント効果分析	申込数・参加率・アンケートスコアを一画面で確認。
イベント複製	過去のイベント設定を複製して新規作成を効率化。

6-5. ユーザー管理

機能	内容
ユーザー一覧・検索・絞込	属性・地域・登録日・対応ステータス・最終ログイン等での絞込・検索。
ユーザー詳細画面	プロフィール・申込履歴・活動履歴・アンケート回答・行動ログ・相談員メモを一画面で確認。
相談員メモ入力	相談内容・回数・対応ステータス・タグを職員が記録。ユーザーには非表示。
行動ログ閲覧	マイページ上の行動ログ（ページ閲覧・お気に入り・チェックリスト進捗等）を確認。
データエクスポート	条件指定による CSV エクスポート。
セグメント配信	条件設定によるターゲット絞込・メール一斉配信・配信履歴管理。
既存ユーザーへの一斉通知	旧システムからの移行促進メール送信機能（初期移行時のみ使用）。
ユーザーの手動ステータス変更	相談員が対応ステータスをドロップダウンで変更。

機能	内容
ユーザーの無効化・削除	不正ユーザーのアカウント停止・削除。

6-6. 相談管理

機能	内容
相談申込一覧	移住・就活相談の申込一覧。対応状況・担当者・申込日時でフィルタリング。
相談詳細・メモ入力	申込内容確認・相談員メモの入力・対応ステータス更新。
担当者割り当て	相談申込に担当相談員を割り当てる機能。
相談履歴 CSV 出力	相談データの CSV エクスポート。
未対応アラート	対応期限を過ぎた未対応相談の強調表示・メール通知。

6-7. 分析・レポート

機能	内容
アクセス解析レポート	GA4 連携によるサイト別・期間別のアクセス数・流入経路・離脱ページ等のサマリー。
ユーザー行動ダッシュボード	登録者数・属性分布・イベント申込数・相談申込数等をグラフで可視化。
イベント効果分析	イベントごとの参加者数・申込率・アンケートスコア・リピート率。
メール配信分析	セグメント別の開封率・クリック率・配信停止率。
KPI モニタリング	設定 KPI の現在値・目標値・達成率の進捗確認。
Looker Studio 連携	GA4 データを Looker Studio で整形し管理画面に埋め込み（iframe or API）。

6-8. メール管理

機能	内容
自動メールテンプレート管理	自動送信メールの文面・件名の編集。プレビュー機能付き。
自動メール設定	各トリガー（申込完了・リマインド等）の送付タイミング・有効/無効の設定。
セグメント配信の作成・送信	絞込条件設定 → プレビュー → テスト送信 → 本配信の一連のフロー。
配信履歴管理	配信済みメールの一覧・配信数・開封率・クリック率の確認。
配信停止管理	ユーザーが配信停止した場合の管理・除外処理。

6-9. 管理者・権限管理

権限レベル（案）	操作範囲	対象者
システム管理者	全機能フルアクセス。管理者アカウントの追加・削除・権限変更。	システム担当者
コンテンツ管理者	記事・イベント・ページのコンテンツ編集・公開。ユーザーデータ閲覧は不可。	広報・更新担当職員
相談員	担当ユーザーの詳細閲覧・相談メモ入力・対応ステータス変更。コンテンツ編集は不可。	相談対応職員
データ閲覧者	ダッシュボード・ユーザー一覧の閲覧のみ。編集・配信は不可。	管理職・分析担当
企業アカウント	自社の企業情報・採用情報・イベント・申込者一覧・のみ閲覧・編集可。他社情報・ユーザーデータは不可。	登録企業の担当者
共通機能	内容	
管理者アカウント管理	管理者の追加・削除・パスワードリセット・権限変更。	
操作ログ	誰がいつどの操作を行ったかのログ記録。	
二要素認証	管理者ログインに二要素認証を設定可能にする。	

【要確認】 権限の種類・役割区分は県庁の組織体制・業務フローを確認した上で最終確定する

6-10. 企業側管理画面要件（KocchAke!連動）

KocchAke!に掲載する企業情報を管理するメニュー。県庁統合管理画面と同一システム・同一 URL で運用し、企業アカウントでログインすると企業専用メニューのみが表示される。DB は統合 DB に一本化。

▶ 6-10-1. 企業情報管理（県庁側が行う操作）

機能	内容
企業一覧・検索	登録企業の一覧・絞り込み・検索。業種・地域・登録状況でフィルタリング。
企業アカウントの作成・削除・編集	企業名・業種・所在地・担当者情報・ログイン権限の設定。
企業情報の審査・公開管理	企業が登録・更新した情報を審査し、公開・非公開を管理する。
企業情報のタグ管理	奨学金返還助成制度（9）・女性活躍推進（10）等のタグを企業情報に付与する。
合同就職説明会エントリー管理	説明会の作成・編集（開催日時・会場・募集枠数等の設定）。企業からのエントリー申込一覧・承認/却下・参加企業リストの管理・CSV 出力。
採用予定者数・実績数の集計・閲覧	各企業が報告した採用予定者数・実績数の一覧・年度別集計・CSV 出力。
閲覧ログ確認	企業ページの閲覧数・学生の興味関心データを確認。

▶ 6-10-2. 企業アカウント機能（企業側が行う操作）

企業担当者は県庁統合管理画面の企業用メニューにログインし、自社情報のみ編集できる。職員と同一システムを使用するが、権限は「自社情報の閲覧・編集のみ」に制限する。

機能	内容
自社情報の編集	企業概要・採用情報・動画 URL・インターンシップ情報の登録・更新。
説明会・インターンシップのイベント登録	開催日時・定員・申込方法等のイベント情報を登録。管理画面のイベント管理機能と連動。
申込者一覧の確認	自社のイベントへの申込者一覧・参加状況をリアルタイムで確認。
県主催合同就職説明会へのエントリー	県が主催する合同就職説明会等へ企業としてエントリー（参加申込）できる機能。申込内容は管理画面の県庁側で確認・管理できる。
採用予定者数・実績数の報告	年度ごとの採用予定者数・採用実績数を報告するフォーム。県庁がデータを集計・分析できる。
掲載状態の確認	公開中・審査中・非公開の状態を確認できる。

7. ユーザー行動ログ取得設計

7-1. ログ取得方針

マイページ上のすべてのユーザー行動をログとして取得・保存し、管理画面のユーザー詳細画面・ダッシュボード分析・セグメント配信の条件設定に活用する。

7-2. ログ取得対象一覧

ログ種別	取得内容	活用先
ページ閲覧	閲覧ページ・滞在時間・閲覧日時	管理画面ユーザー詳細・ダッシュボード・セグメント条件
機能利用	お気に入り操作・チェックリスト操作・シミュレーター利用・パス表示	管理画面機能利用分析
イベント申込	申込日時・申込イベント ID・キャンセル有無	管理画面イベント管理・ユーザー詳細
イベント参加	参加確定日時・QR スキャン記録	管理画面イベント管理・ダッシュボード
相談申込	申込日時・相談種別	管理画面相談管理・ユーザー詳細
アンケート回答	回答日時・満足度スコア・回答内容	管理画面イベント分析・ユーザー詳細
ログイン	ログイン日時・頻度	ダッシュボード（MAU 把握）
プロフィール更新	更新日時・更新項目	データ鮮度管理
メール開封・クリック	開封日時・クリックリンク	メール配信分析・セグメント最適化

7-3. ログ保存・管理方針

- ログデータは統合 DB の行動ログテーブルに保存し、ユーザーID で紐付ける
- 保存期間：法令・プライバシーポリシーに従い設定（例：3～5 年）
- 退会ユーザーのデータは個人識別情報を削除し、匿名化した上で統計データとして保持する

【要確認】 ログの保存期間・退会時のデータ処理方針は個人情報保護の観点から法務確認のうえ確定する

8. LINE・SNS 連携方針

8-1. LINE 連携方針

項目	方針	理由
ウェルカムパス	マイページ機能として実装	ユーザーが日常的に利用する LINE 上でウェルカムパスを表示・提示できる機能を設ける。
セグメント別情報発信	マイページのメール通知機能＋管理画面の一斉メール配信で対応	ユーザーの属性・行動データを活用したセグメント配信はメール経由で実現する。
公式 LINE の位置づけ	お知らせ情報等の配信	お知らせ情報等の配信に留まらず、伴走型支援を機能させるためのタッチポイントとする。

【注意】 上記方針について県庁との合意確認が必要

8-2. SNS 活用方針

SNS	活用方針
Instagram / X	フロントサイトへのフィード埋め込み。各コンテンツ・イベントのシェアボタン設置。
LINE 公式アカウント	お知らせ・イベント情報の一斉配信に特化。WEB サイトへの誘導リンクを設置。
YouTube	移住者インタビュー・秋田の暮らし紹介動画のサイト内埋め込み活用。

9. KPI・効果測定設計

9-1. KPI 一覧

カテゴリ	KPI 項目	計測方法	目標値
ユーザー獲得	マイページ新規登録者数（月次）	統合 DB	要設定
ユーザー獲得	マイページ登録完了率（誘導数対比）	GA4 + DB	要設定
ユーザー活性	イベント申込数（月次）	DB	要設定
ユーザー活性	イベント参加数・参加率	DB（QR ログ）	要設定
ユーザー活性	アンケート回答率	アンケート DB	要設定
ユーザー活性	相談申込数（月次）	DB	要設定
ユーザー活性	マイページ月次アクティブ率（MAU）	DB	要設定
メール施策	メール開封率・クリック率	メール配信ログ	要設定
サイト	フロントサイト直帰率	GA4	現状比改善
サイト	フロントサイト平均滞在時間・回遊率	GA4	現状比増加
データ品質	ユーザー情報更新率（年次通知後）	DB	要設定
業務効率	職員手入力件数	運用記録	ゼロ
最終成果	移住相談につながったユーザー数	DB + 相談員記録	要設定

【要確認】 目標値は現状のアクセスデータ・登録者数分析後に県庁と協議の上確定する

10. 非機能要件

区分	要件	内容
セキュリティ	個人情報保護	個人情報保護法・秋田県条例準拠
セキュリティ	通信暗号化	全サイト SSL/TLS (HTTPS) 必須
セキュリティ	パスワード管理	ハッシュ化 (bcrypt 等) による安全な保存
セキュリティ	不正アクセス対策	ログイン試行制限・CAPTCHA・セッション管理
セキュリティ	管理画面二要素認証	管理者ログインへの二要素認証導入
セキュリティ	脆弱性診断	リリース前のセキュリティ診断実施
パフォーマンス	ページ表示速度	Core Web Vitals 基準 (LCP 2.5 秒以内等)
パフォーマンス	モバイル対応	スマートフォンファースト・レスポンス設計
可用性	稼働率	99.5%以上 (年間停止時間 44 時間以内)
可用性	メンテナンス通知	計画メンテナンス時の事前告知機能
保守性	CMS 操作性	IT 専門知識不要で職員がコンテンツ更新可能
保守性	ソースコード管理	Git によるバージョン管理・ドキュメント整備
アクセシビリティ	JIS X 8341-3	ウェブアクセシビリティ規格への準拠 (AA 目標)
バックアップ	定期バックアップ	DB およびコンテンツの日次自動バックアップ
バックアップ	リストア確認	定期的なバックアップからのリストア確認

11. 現行システム移行方針

11-1. 基本方針

現行 2 サイト（はじめの一步・KocchAke!）は独自 PHP で開発された別々の CMS で運用されている。
今回の刷新にあたり、現行コードの引き継ぎは行わない。CMS・既存サービスの活用も含め、本仕様書の要件を満たす最適な方法で新規構築することを基本方針とする。技術選定はベンダーに委ねる。

方針	内容
コードの引き継ぎ	行わない。現行 PHP コードは流用せず、全てフルスクラッチで新規開発する。
コンテンツデータの移行	行う。既存の記事・画像・補助金情報等のコンテンツデータは新 DB へ移行する。移行対象の最終リストと作業分担はベンダーと協議の上確定する。
ユーザーデータの移行	行わない。プライバシーポリシー上の観点から既存ユーザーデータの自動移行は行わず、新規登録を促す運用とする。既存ユーザーには一斉通知メールで新マイページへの登録を案内する。
インフラの引き継ぎ	原則として引き継がない。新システムはクラウド環境で新規構築することを推奨する。現行インフラの契約状況はベンダー選定後に確認し、移行コストとして見積に含めること。

11-2. 移行対象コンテンツ

対象	移行方針	備考
はじめの一步 記事・画像	移行する	移行件数・フォーマットはベンダーと協議。
KocchAke! 記事・画像	移行する	移行件数・フォーマットはベンダーと協議。
KocchAke! 企業情報 (約 1,000 社)	選択的に移行	不要情報（オンライン相談・人事ブログ等）を整理した上で移行。
既存マイページユーザー (約 7,600 件)	移行しない	新マイページへの再登録を促す。 一斉通知メールで案内する。
既存 KocchAke! 会員 (約 1,300 名)	移行しない	同上。

【要確認】 コンテンツデータの移行作業（クリーニング・フォーマット変換・インポート）はベンダー見積に含めること

12. 未確定事項一覧

No.	項目	確定手段	優先度
1	既存ユーザーへの一斉メール送信：メールアドレスデータの取得可否・件数	県庁確認	高
2	再登録促進インセンティブ設計・メール文面	県庁と協議	高
3	LINE 連携方針の県庁合意確認	県庁合意	高
4	KocchAke! リブランディング後のサイトコンセプト・ターゲット再定義	県庁と再協議	高
5	管理画面の権限種類・役割区分	県庁ヒアリング（組織・業務フロー確認）	高
6	相談員の「対応ステータス」種類・「タグ」設計	県庁ヒアリング	高
7	マイページ登録の必須入力項目	UX 設計フェーズ	高
8	QR コード読取方式（職員スキャン / ユーザー自己チェックイン等）	UX 設計フェーズ	高
9	参加後アンケートの設問設計	県庁と協議	高
10	各 KPI の目標値	現状分析後に県庁と協議	高
11	現行環境の技術調査結果（第 11 章チェックリスト）	ベンダー or 現行開発会社に調査依頼	高
12	引き継ぎ vs 新規開発の最終判断	技術調査結果 + ベンダー見積を受けて判断	高
13	使用する CMS・フレームワーク・インフラ	技術設計フェーズ	中
14	アンケートツール（自作 vs 外部ツール連携）	技術・コスト検討	中
15	Looker Studio 連携の実装方式	技術設計フェーズ	中
16	学生→移住希望者属性変更時の UI/UX 設計	UX 設計フェーズ	中
17	ソーシャルログイン（Google/LINE）の対応可否	技術・コスト検討	中
18	行動ログの保存期間・退会時データ処理方針	法務確認 + 設計	中
19	自動メール配信頻度の上限ルール	メール設計フェーズ	中
20	詳細サイトマップ・コンテンツ構成	情報設計フェーズ	高

以上